

ふるさとの植物を守ろう

(社)日本植物園協会 第8回植物園シンポジウム



気がついていましたか？

東京の公園や街角の小さな自然

日時：平成24年6月1日(金) 午後2時00分～4時30分 (1時30分開場)

場所：東京大学弥生講堂(農学部正門脇)

入場無料(先着順300席)



講演

多田多恵子 (理学博士 立教大学 国際基督教大学講師)
公園や街角の植物ウォッチング ～身近な草木に、ふしぎ発見！～

田中 肇 (花生態学研究者)
昆虫を養う公園や街角の花 ～だますこともあるよ～

司会

寺島一郎 (東京大学理学系研究科教授 附属植物園長)



お問い合わせ

社団法人日本植物園協会事務局

〒114-0014 東京都北区田端1-15-11-201

TEL:03-5685-1431 FAX:03-5685-1453

E-mail:sympo@syokubutsuen-kyokai.jp

第8回植物園シンポジウム

気がついていましたか？ 東京の公園や街角の小さな自然

植物は私たち人間の生活のための資源であり、また生活環境の最も重要な要素です。緑の面積が急速に減少し、多くの植物種が絶滅している今、地球上の多様な植物を保全することにより、私たちの生活を私たちの手で守っていかねばなりません。(社)日本植物園協会では「ふるさとの植物を守ろう」を標語として様々な保全活動を行なって来ましたが、そのひとつが「植物園シンポジウム」です。平成18年から、毎回テーマを変えて以下のように開催してきました。

- 平成18年度 第1回(東京)「ふるさとの植物をまもろう」
- 平成19年度 第2回(名古屋)「植物多様性保全と植物園」
- 平成19年度 第3回(京都)「地球温暖化と植物園」
- 平成20年度 第4回(札幌)「北の大地の植物をまもる」
- 平成21年度 第5回(仙台)「青葉山の森を22世紀に伝える」
- 平成22年度 第6回(東京)「<生息域外保全>暮らしのなかで植物をまもる」
- 平成23年度 第7回(水戸)「歴史にちなんだ植物を現代に活かす～江戸時代の薬草」

今回第8回のシンポジウムでは、多数の植物学入門書や図鑑の著者である多田多恵子氏と田中肇氏に、東京の公園や街角の植物について、素晴らしい写真とともにたっぷり語っていただきます。講演の後は、公園や街角の小さな自然をどう守るのかを、討論を通して考えます。会場には、全国の植物園の取り組みを紹介するポスターも展示します。

講師紹介

多田多恵子さんのプロフィール

東京都豊島区生まれ、東京大学大学院修了、理学博士。東京都在住。植物の生き残り戦略、虫や動物との関係を、いつもワクワク追いかけている。小石川植物園は大好きなフィールド。著書に「街路樹の散歩みち」「葉っぱ博物館」山と溪谷社、「身近な草木の実とタネハンドブック」文一総合出版、「種子たちの知恵」NHK出版、「したたかな植物たち」SCC、「植物の生態図鑑」学研教育出版 等多数。

田中肇さんのプロフィール

1933年東京市滝野川区生まれ、都立紅葉川高校卒。東京都在住。長年、貴金属細工師としての仕事の傍ら、各地の野山、また小石川植物園や自宅周辺をフィールドとして、花の受粉についての調査を続けてきた。著書に「昆虫の集まる花ハンドブック」文一総合出版、「花と昆虫がつくる自然」保育社、「身近な植物となかよくなるう」さ・え・ら書房、「植物の生態図鑑」学研教育出版 等多数。

弥生講堂 会場案内

地下鉄

東京メトロ 東大前駅(南北線) 徒歩1分

東京メトロ 根津駅(千代田線) 徒歩8分

都バス

御茶ノ水駅(JR中央線、総武線)より

茶51 駒込駅南口又は東43 荒川土手操車所前行

東大(農学部前バス停) 下車徒歩1分

